

緊急討論:ウクライナ危機

日 時:2022年3月16日(水) 午前10:00~12:00

開催形式:オンライン(Zoom webinar)

共催:長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)、多文化社会学部
グローバル巨大リスク研究プロジェクト(NURESICA)

話題提供者 プロフィール

下斗米 伸夫 (しもとまい のぶお)



1948年生まれ、71年東京大学卒。78年法学博士(東大)、成蹊大学教授を経て88年から2019年まで法政大教授。19年から名誉教授、神奈川大学特別招聘教授。この間、文部省留学(モスクワ)、バーミンガム大、ハーバード大学で在外研究、国際政治学会理事長、日露賢人会議メンバーを務めた。著書に「アジア冷戦史」(アジア・太平洋賞特別賞)、「新危機の20年、プーチン政治史」「ソビエト連邦史1917—1991」など多数。

パネル討論者

森川 裕二 (もりかわ ゆうじ)



北海道出身。博士(学術、早稲田大学)。専門は東アジアの国際関係、国際政治学の方法と理論。北海道大学農学部卒業後、新聞記者、米国通信社特派員を経て、2006年早稲田大学21世紀COE「現代アジア学の創生」研究員。2010年富山大学特命助教を経て、2014年4月より長崎大学多文化社会学部教授。

コンペル・ラドミール



1976年チェコスロヴァキア出身(現・チェコ共和国、スロバキア共和国の双方で生活)。横浜国立大学国際社会科学科博士課程修了、博士(国際経済法学)。専門は比較政治学。著作に『芦田均日記一九〇五〜一九四五』(第5巻、柏書房、共著)、論文に「日本国憲法の制定と沖縄の関連性」(『横浜国際経済法学』21-3)などがある。2014年4月より長崎大学多文化社会学部准教授。

朝長 万左男 (ともなが まさお)



元日本赤十字社 長崎原爆病院院長 / 核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会委員長。1943年長崎市生まれ。2歳のときに、母親とともに爆心地から2.7kmの距離で被爆。長崎大医学部卒、同大で40年間血液内科医として被爆者医療および白血病の研究にあたる。

吉田 文彦（よしだ ふみひこ）



1955年京都市生まれ。東京大学文学部卒、朝日新聞社入社。2000年より論説委員、論説副主幹。その後は、国際基督教大学（ICU）客員教授、米国のカーネギー国際平和財団客員研究員など。主な著書は、『核解体』『証言 核抑止の世紀』『核のアメリカ』。大阪大学にて博士号（国際公共政策）取得。

モデレーター

鈴木 達治郎（すずき たつじろう）



1951年生まれ。75年東京大学工学部原子力工学科卒。78年マサチューセッツ工科大学プログラム修士修了。工学博士（東京大学）。2010年1月より2014年3月まで内閣府原子力委員会委員長代理を務めた。核兵器と戦争の根絶を目指す科学者集団パグウォッシュ会議評議員として活動を続けている。